

江田島の地域に唯一残る歴史的建造物

歴史刻む洋館「海友舎」を再生して、地域内外の交流拠点に。



海友舎の歴史と、活動の始まりについて

海友舎は、明治末に海軍兵学校で働く兵士や下士官用の娯楽兼福利施設として建てられました。江田島の地域に唯一残る海軍兵学校関係施設で、空襲さえも免れてきた歴史的に貴重な、築110年の木造建造物です。

戦後、海友舎は民間に払い下げられ、会社の事務所として使用され続けてきました。2012 年、海友舎を使用してきた事務所が撤退することとなり、解体の危機にありました。同年10月、海友舎を取り壊さずに後世に残したいという想いを持った有志が集まり、所有者のご厚意と地元の方々の好意的なご協力のもとに、ぐるぐる海友舎プロジェクトが発足しました。

▲ 定例の活動日に建物の清掃をした後、参加者と海友舎の前で（2024年10月13日撮影）



海友舎建物全景



◀ 正面玄関には、海軍の桜と碇が描かれたガラス絵が残る

▼ (左) 上げ下げ窓

▼ (右) 煉瓦と石の基礎と、飾りの模様の美しい通気口



海友舎での、さまざまな活動を紹介します

建物見学+貸室+調査



海友舎を知ってもらうために、「海友舎ガイドツアー」を実施しています。神奈川や神戸など県外からも参加者がおり、2024年6月にはニュージーランドから、ご夫婦が海友舎の見学に訪れました。また海友舎の貸室をおこなっており、映画の撮影などにも使用されました。2024年度には新たに歴史学の研究者らに協力いただき、海友舎所蔵資料の調査も始まりました。3月には資料調査の中間報告会を予定しています。

活動の基本は建物の掃除と手入れから

ぐるP 活動日の一日を写真で紹介します

清掃+手入れ+ミーティング

ぐるぐる海友舎プロジェクト（略称：ぐるP）の活動の基本は掃除です。海友舎の清掃は、建物をより良い状態で維持していくために大切な活動であり、現代建築では真似できない当時の技や美に触れる貴重な体験です。毎月第二日曜を「ぐるP 活動日」として一般にも参加を呼びかけ、誰でも気軽に参加できるようにしています。活動日には、みんなが海友舎に集まって建物の掃除と、庭の手入れをします。海友舎の庭には桜や銀杏などの樹木や草花があり、季節の変化を感じることができます。



◀(左) 初めての参加者と挨拶して、メンバーを紹介

◀(右) 建物に風を通して、2階から順に箒で掃いていきます
(2024年10月13日撮影)



◀(左) 建物の床はモップで磨いていきます

◀(中) 畳の部屋には掃除機をかけます

▶(右) 玄関周りの落ち葉を拾って、隣接する道路も掃除します



◀(左) 庭の樹木を剪定する様子

▶(右) 掃除が終わったあとは、お茶や菓子をつまみながらミーティング



2024年10月の「ぐるP活動日」には、地域活動に興味を持つ地元の中학생と、卒業研究として地域での観光について関心のある大学生が神奈川県から参加してくれました。近年は、ご近所にお住まいの方にご協力いただき、一緒に庭の剪定や草刈りをしています。ぐるPのメンバーは、江田島市に在住の人と、近隣の呉市や広島市から通っている人などさまざまです。海友舎には学生から高齢者まで、地域内外のさまざまな人が出入りしています。

海友舎をきっかけに、ぐるぐる、こつこつ、わくわく！